

令和5年度第2回原町区地域協議会 会議録

① 開催日 令和5年5月25日(木)

② 場所 市役所本庁舎3階第1会議室

③ 会議時間 開始 午後 1時23分
終了 午後 2時50分

④ 出席委員(10人)

会長 平間 勝成	副会長 本間 健一	委員 村上 勇一
委員 半谷 眞知子	委員 波田野真由美	委員 貝塚 大暉
委員 小野 幸枝	委員 藤原 ヒロ子	委員 伏見 順栄
委員 鈴木 洋一		

⑤ 欠席委員(5人)

委員 奥村 健郎	委員 前田 一男	委員 志賀 ゆかり
委員 田中 章広	委員 後藤 悦宏	

⑥ 説明のため出席した者の氏名

健康政策担当参事 下山 宏治
健康政策課長 鈴木 貴之
健康政策課健康企画係長 馬場 仁
健康政策課健康企画保健師 瀧名 比呂

⑦ 出席した事務局職員

横田 美明 庄司 一弘 高野 良 北原 圭子

⑧ 担当書記

北原 圭子

⑨ 本日の会議に付した案件

(1) 報告事項

① (仮称)南相馬市保健計画2023(素案)に係るパブリックコメント手続の実施について

⑩ 会議録署名委員

委員 村上 勇一 委員 半谷 眞知子

1 開会

午後1時23分開始

■原町区地域振興課長

委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。

皆様お集まりいただきましたので、定刻前ではありますが、ただいまより令和4年度第2回原町区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

■原町区地域振興課長

はじめに、原町区地域協議会平間勝成会長からご挨拶を頂戴いたします。

◇会長

(会長あいさつ)

3 原町区役所長あいさつ

■原町区地域振興課長

次に、原町区役所長の横田から挨拶申し上げます。

◇原町区役所長

(所長あいさつ)

4 議事

■原町区地域振興課長

これから議事に入りますが、これ以降は、会長が座長になり会議の進行をお願いいたします。

(1) 会議録署名人の指名

◇議長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人には、村上勇一委員と半谷眞知子委員の2人をお願いします。

(2) 書記の指名

◇議長

次に、書記の指名ですが、書記は原町区地域振興課北原主事を指名します。

(3) 報告事項

◇議長

では次第4の議事(3)報告事項の①(仮称)南相馬市保健計画2023(素案)に係るパブリックコメント手続の実施についての説明をお願いします。

■健康政策課

(説明)

◇議長

只今の説明に関して、何かご意見ご質問等があればお願い致します。

◎半谷委員

先ほど健康寿命の延伸でお達者度の話があり、1位を目指すということですが、県

内で1位はどこですか。南相馬市は何番目位に入っているのでしょうか。

■健康政策課

お達者度の順位ですが、男女分かれて公表されています。男性は福島市が、女性は本宮市になっています。南相馬市は、男性が13位、女性が5位です。人口規模1万2千人以上の自治体を対象として算出しているため、県内27自治体で公表されている順位です。

◎貝塚委員

目標達成のための重点事業として、サンサンチャレンジ参加と特定検診の受診を掲げていますが、素案の45ページに国保特定健康診査の受診率向上の具体的手法として、検診対象者への個人通知や広報という記載ありますが、サンサンチャレンジの参加数の現状値が1,705人に対して4年後の目標値が2,800人で、1,100人ほどの増加が記載してありますが、具体的施策を教えてください。

■健康政策課

サンサンチャレンジは、令和3年度から4年度にかけて大きく変えてきています。PDCAサイクルの記入がありますので、その流れを説明させていただきますと、当初令和3年度の参加人数は470人でしたが、令和4年度に関しては1,700人と大幅に増加しています。なぜかという、年2回実施したからです。去年の秋は900人の参加でした。今年は最初が1,000人弱で、今回が700人ほどでした。しかし3ヶ月空けて2回目の実施となりますと、実施期間が短いということで、参加人数が見込めないということが今回分かりましたので、今回は年1回の実施とし、他に、例えば健康診断の受診でメタボリックシンドローム予備軍に該当し特定保健指導を受けないといけない人に対して、1回サンサンチャレンジをしてみませんか、案内をしていこうと考えています。それについては、タイミングを決めてやってくださいという、できなくなってしまいますので、その都度始めてもらうという、診断結果が出た瞬間にすぐに始められるよう、個人でも年間を通じてずっと出来るような体制と、年1回は皆で頑張りましょうというタイミングに今年の秋より変えようと思っています。その都度課題を見つけてやり方を変えていくということで、なんとか年間2,800人の方に参加いただける体制にしていきたいと思っています。

◎貝塚委員

実は私もやっております。これを実施していますと、自分の体重が今どれくらいで、ちょっと今日は食べ過ぎたから次抑えようかとなりますので、非常に有効で面白く実施出来るものだと思います。今のお答えの中にあつた、指導が入った人への通知をし、自分の事として捉えないとなかなかやるきっかけにはならないと思いますので、まさに私の欲しかった答えです。そういったターゲットを絞って、通知をするというのは非常に有効だと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

◎藤原委員

南相馬市保健計画2023（素案）を読みまして、感じたことがあります。橋本町のサロンに食生活改善推進員として呼ばれたことがありました。11人の参加で、平均年齢が90歳近くでした。その中の91歳の方にどのように生活してきたかお聞きしました。一人暮らしではありますが、近くにいるお孫さんが幼稚園の時から、そ

の家に行って毎日お弁当を作っているという話を聞いて、長く働いている方なのだと思います。いろいろ認知症予防等の講演会など聞いてきましたが、私は、直接この方のようにお達者度の高い人のお話を聞き、家族や人のために自立して生活していることは、楽しいのだと、年齢が高くなっていくことに対し勇気づけられましたし、南相馬市の健康寿命も延びるのではないかと思います。現在いろいろなやり方をなさっているようですが、プラスで市内の90歳台位のお達者な方のお話を聞く会を作っただけであれば、自分の事のように身近に感じる事が出来るのではないかと思います。

■健康政策課

藤原委員からお話がありましたように、いろいろ参考になるお話を聞くことは、お達者度を上げる上で大変大事なことだと思います。私どもは健康政策課ですが、健康づくり課と協議、相談していきたいと思います。

◎鈴木委員

藤原委員のご意見に関してですが、やはり市内には健康で長生きしている方が多くいらっしゃいます。そういった方の健康の秘訣集みたいな、小さな冊子を作製していただくのもより効果的だと思います。よく広報紙に賀寿の方が写真入りで載っています。長生きはやはり何でも食べる、良く寝る、くよくよしないことが秘訣のようですので、そういった先人の知恵というような事例集的なものを作っただけであればありがたいと思いますので、よろしくお願ひします。

■健康政策課

藤原委員、鈴木委員からありましたとおり、やはり長寿の秘訣というのは、多くの方に知っていただくことが大事だと思いますので、先ほどお話しましたとおり、健康福祉部内で検討していきたいと思います。各地区でサロンも開催しておりますし、各地区担当の保健師もおりますので、相談しながら、長寿の方が元気でいられるために何をしているのか、広く市民の皆さんに知ってもらうように、進めていきたいと思います。

◎村上委員

お達者度の計画の目標についてですが、現在の1位が福島市と本宮市とあり、市の目標値が男性18.65年、女性21.68年となっていますが、その目標値の数字についての説明をお願いします。

■健康政策課

男性の18.65年は現在1位の福島市、女性21.68年は現在1位の本宮市を今回の計画目標値として決めました。

◎村上委員

市の目標値が県内1位の市を目標にしていることを、はっきり記入した方がいいと思います。

■健康政策課

見づらい表記で申し訳ございません。わかりやすい形に修正いたします。

◎本間副会長

前回の合同会議で、第三次総合計画前期基本計画の説明があった時、子育てに関してはかなり進んだ方針が出されたと思われました。しかし、高齢化社会の中で、認知症が問題ではないかと思っています。施設に入っている方はともかく、高齢者が犯罪を起こしたり、交通事故を起こしたりと、認知症の関係は分かりませんが、それに近いものがあるかと思っています。いわゆるまだら認知症になった場合、34ページに保険活動組織という表があり、民生委員も相談員になっていると思います。高齢者が交通事故に遭うのは相手があり避けられない場合もありますが、まだら認知症が原因なのか、社会的実績のある方が万引きをしてしまうこともあります。本人のプライドや家庭環境により隠す方が多いようです。このような不名誉なことが発生した場合、近所の方にこのような状況があり、やむを得ないこともあるといことを理解してもらうことも必要だと思います。高齢化社会で将来半数近くが認知症になると聞いています。私もその年ですので、心配しています。この様なことに対する対策はあるのでしょうか。

■健康政策課

認知症に対する要望ですが、長寿福祉課で担当しており、健康福祉課で答えられない部分がありますので、このようなご質問をいただいたということを長寿福祉課に伝えて、認知症の方を支援するための養成講座を実施しておりますので、連携しながら実施していきたいと思っています。

◎本間副会長

予防はやりすぎても難しい部分もありますが、まだら認知症など犯罪に繋がってしまうこともあるので、行政として窓口で対応することや、また警察と連携することも必要だと思いますので、よろしくお願ひいたします。

◎波田野委員

母子・妊婦さんに対しては手厚く保障していくという姿勢は見受けられますが、本間副会長のおっしゃられたとおり、お年寄りがお達者度を目標にしていきたいと思いますという割には、やりましようとか、こういうことを保障しますとかのお知らせが少ないのではないかと感じます。もう少し、お知らせに力を入れてもいいと思います。

■健康政策課

お知らせについてですが、これまでもパンフレット等を作成しておりますが、作成の方法や、お知らせの仕方について、わかりやすいよう工夫していきたいと思っています。

◎小野委員

市政だよりも認知症についての情報があったりしますが、年齢が高くなってきた女性が体の不調を相談できるような情報も出していただければと思います。男性よりも骨粗しょう症にもなりやすいです。あの状態でよく歩いているな、大変だなと町で見かけることがあります。広報紙に休日当番医院の案内は載りますが、こういう症状の時はこうしたらいいとか、何かちょっとした情報が記入してあるなどの配慮があると、お達者度が上がるのではないかと思います。

■健康政策課

どこに相談していいのか中々周知できていないというのは、正直感じております。まずは、保健センターに相談いただきたいと思います。相談の体制や周知等も含めて、今後わかりやすいように進めていきたいと考えております。

◎小野委員

窓口で対応ということですが、やはり不安で誰に聞いていいかわからないまま行くことになると思います。何でそんなこと知らないのだろうという顔で対応されたら、すごく不安になりますので、ちょっとした配慮のある対応をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

■健康政策課

不安で来られると思いますので、来られた皆様に寄り添った対応が出来るよう、職員にも指導していきたいと思います。

◎本間副会長

先ほど委員より、子どもに対しては手厚い保障があるけれど、お年寄りのことはあまり考えてはいないのではないかという話がありました。第三次総合計画の中では、高齢者に向けての補助は補聴器くらいです。私は区長として、三世代交流事業などを開催するため、区内の皆に声掛けをしますが、なかなか参加されません。高齢化社会の中では、生活が容易でない方も多くいます。どのような支援ができるのか、もう少し考える必要があると思います。

■健康政策課

補聴器の補助だけでは、なかなか対応ができないことは感じております。高齢者に関した施策ができるよう、健康政策課、原町保健センターだけでなく、長寿福祉課、健康福祉部と共に改めて検討していきたいと思います。

◎伏見委員

今、若い人が、自殺で亡くなることが多いと感じています。平均寿命は0歳から亡くなるまでの年齢層を含めたトータルな話ですので、若年層の自殺率を下げることで、平均寿命は上がると思います。先日ですが、私の近くで34歳の方が亡くなりました。そういう場合、平均寿命は一気に下がってしまいます。未来の在る若者が自殺等で亡くなるということの無いような政策を取っていただきたいです。また、悪性新生物、がんですが、早期発見ができれば、延命率が上がります。しかし検診にいかないため、気が付いた時は手遅れになってしまうこともあります。若い人は進行が早いですから。そういうことで平均寿命が下がってしまうと思いますので、市として、健康診断の受診率を上げていただき、トータル的に平均寿命を考えていければいいと思います。

■健康政策課

自殺率につきましては、震災から12年が経ち、時間の経過や、地域、家族の変化がある中で、自殺率が高いということがあります。市としても、令和5年度から令和8年度の南相馬市自殺対策計画を策定しました。平成28年度から令和2年度の5年間の自殺死亡率が24.4人（人口10万人当たりの自殺者数）で、減少できるよう

に対策に取り組んでいきたいと思っています。がんの早期発見につきましては、今回の保健計画の重点事業②にも記入しておりますが、受診率の向上、早期発見に繋がるよう取り組んでいきたいと思っています。

◎村上委員

前回の合同会議の中で、担当課より人口の自然減について、お亡くなりになる方が年間900人位で、生まれる人数が300人位ということで、年間600人位ずつ減っていくという話がありました。出産する方が増えればいいと考えますが、市内には産婦人科が2ヶ所しかありません。その内の1ヶ所は市立病院で、午前中だけです。誰もここで産みたいとは思わないのではないのでしょうか。このような環境を整備しないと、南相馬市で出産する人がいなくなってしまうと思います。夢のある出産、子育てができる環境の整備をしないといけないのではないかと思います。

■健康政策課

こちらの地域医療の維持ということですが、全国的にですが医師の確保が難しく、医師不足ということがあります。市としても、不足する診療科、産婦人科や小児科の開設に向けて支援する補助金などの制度を持っておりますので、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

◎村上委員

私は産婆さんに取り上げてもらったのですが、何処かの自治体で産婆さんを育てる取り組みをしていると思ったのですが、そのような取り組みはどうでしょうか。

■健康政策課

現在看護師を目指す方に対する修学資金などの支援制度があります。産婆さん、いわゆる助産師についても看護師同様の制度を設けていますので、そちらで対応していきたいと思っています。

◎貝塚委員

地域医療体制の整備についてお伺いします。例えば、民間がクリニックを開設することになった場合の市の関わり方というのは、基本的に補助金という認識でよろしいのでしょうか。その他、具体的に建設される時など何か補助するものがあれば教えてください。

■健康政策課

補助金としましては、先ほど申し上げたように、不足する診療科、産婦人科や小児科等の開設に伴う建設費用の補助があります。また、既存のクリニックでも、医療機器も一定の条件がありますが器機の更新に係る補助があります。補助についてはこの2点です。

◎貝塚委員

ちょっとゴシップレベルで大変恐縮ですが、ある雑誌に、この南相馬市のクリニックが地元の業者と何かおかしい関わりがあり、最終的にクリニックができてもすぐ閉鎖したなどという事例が載っていました。市がどれだけ民間の事に踏み込めるのか難しいとは思いますが、新しく病院ができ、地域医療が良くなってきたと思ったら、何か

頓挫してしまったというような事例があってはならないと思いました。監視機能や、チェック機能は多分別な要望かと思いますが、そういうことを聞いたので、質問しました。

■健康政策課

新しくできるクリニック等につきましては、医師会と連携して確認しているつもりではありますが、医師会との関係性を密になるよう、もっと話し合いをしていきたいと思えます。現在大きな病院単位で話し合いをしておりますが、クリニック単位での話し合いは設けていませんでしたので、その方々の声を聞き、医師会や薬局とも協力をしながら対応していきたいと思えます。

◎本間副会長

地域医療の話がでましたが、皆さんもご存知のように、伝統のある渡辺病院が東日本大震災後、原町区西町より移転してしまいました。これは周辺にとって最大の医療の損失です。身近にあると気軽に医者にかかれます。いくつもの信号を通り市立病院に行くのは西側に住んでいる住民、特に高齢者は大変です。病院に行くにも、交通手段の無い方も多いです。今年も8月に原町区の区長と市長との懇談会が開催されますので、質問したいと考えています。本当に地域医療としての損失です。渡辺病院で命を救われた人は相当いると思えます。立派な施設を持ち相双地区1番と言われていた渡辺病院が突然移転してしまったことは甚だ遺憾です。何とかしてほしいと以前も要望しましたが、市長は5千万円までは補助できるのだが、との回答でした。公的な医療の役割とは異なることは分かりますので、あまり強く要求はできませんが、町の中心地の病院の建物が残っているのに、利用されていないわけですから、何らかの方法で、最低でも診療所的なものを作ってください、地域医療に貢献できるような方向づけをお願いします。

■健康政策課

渡辺病院が新地町に移転したことは、南相馬市にとって大きな損失だと思っております。今ある病院で地域医療を維持できるように取り組んでいきたいと思っております。また、繰り返しになってしまいますが、診療所の開設に伴う補助金につきましても、取り組んでいきたいと思っております。市内の地域医療を維持できるように取り組んでいきます。

◎平間会長

健康ビジョンで～健康づくりがウマいまちへ～とあり、馬にかけたネーミングでいいと思えました。健康についてネガティブなことばかりの話がでていましたが、運動すること、体を動かすことがまず大前提だと思えます。南相馬市は、野馬追の里健康マラソンを実施しています。南相馬市は県内1位のお達者度を目指しているわけで、健康宣言都市というような標語などを作り、皆がマラソンをやるし、ウォーキングもやるというように、市民が運動に親しむまちづくりをしていかないといけないと思えます。病気になったらどうしようという前に、体を鍛えていくということからスタートすることが大事だと思えますので、保健計画から盛り上げていただければ、ありがたいです。

■健康政策課

今回機構改革があり、健康福祉部の中にスポーツ推進課も同じ部になりました。スポーツ推進課と協議しながら、連携し、健康維持ができるよう取り組んでいきたいと思いをします。

5 その他

◇議長

次に次第5のその他の(1)の市内視察研修について

■事務局

(7月と8月の地域協議会議事開催時に、原町区旭町の「よりみち」「ミライエ」、原町区上北高平の「クリーン原町センター」「リサイクルプラザ」の研修を実施する予定であること、開催日、出発時間、研修箇所については、議事終了時間等により変更もありうるところを説明した。)

◇議長

次にその他(2)先進地視察研修について事務局から説明をお願いします。

■事務局

(先進地視察研修を毎年11月に行っており、今年度も行なうことを前提として、委員にどこがよいかのアンケートを、7月の協議会までに提出するように依頼をした。)

◇議長

次にその他(3)次回の開催日程について事務局からお願いします。

■事務局

臨時で6月27日(火)午後1時30分から原町生涯学習センターで開催予定である。

6 閉会

午後2時50分終了

■原町区地域振興課長

以上をもちまして、第2回原町区地域協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会長

平間 勝成

会議録署名人

村上 勇一

会議録署名人

半谷 真知子
